

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2026年2月1日 No.61

2026 JR総連春闘をたたかい抜こう！その②

**未だに物価上昇が止まらず、生活不安がある中で
安心して生活ができるように賃上げを勝ち取ろう！**

経団連は、2026 年春闘で経営側の指針となる「経営労働政策特別委員会報告（経労委報告）」を発表しました。

長沢副会長は「**日本経済を強くするには継続的な賃上げが必要**」とし、物価高の中で働き手の生活水準維持と人材の確保・定着を図る観点から、ベアの検討が「重要な柱」になると指摘、貢献度に応じた重点配分などの案を示しています。

しかし、経団連の姿勢は経済活性化を主目的とした賃上げであり、労働者の生活を守る観点は弱いと言えるのではないのでしょうか。**私たちは労働者自身の生活実感や労働実感に基づいて要求し、労使の議論で決めるべきであり、国や経団連のさじ加減に左右されては、私たちの生活は振り回されてしまいます。**

2025 年の年末手当では、会社は職場での苦労を「受け止める」としながらも、数字には表れませんでした。だからこそ、「**賃金はたたかいとるもの**」という原則に立ち、「労働組合の組織力」を高めて団体交渉に臨むことが重要です。JR 東労組に結集し、2026JR 総連春闘で満足できる賃上げを求め、声を上げましょう！

**経団連が
賃上げを
求める理由**



**日本経済を
活性化させる**



**労働組合が
賃上げを
求める理由**



**「生活実感」
「労働実感」
を踏まえて
生活向上**

賃金・生活を守るため、組織強化・拡大を実現しよう！